

PFOS・PFOAの検査結果(令和8年度)

単位:ng/ℓ

配水系統	水源	種別	採水場所	基準値	検査結果	採水日
				PFOSとPFOAの合計値		
中須水源地系統	中須水源	原水	中須水源地	50以下	—	4月2日
		浄水	宮山小学校		—	
五十鈴川水源地系統	五十鈴川水源	原水	五十鈴川水源地		—	
		浄水	進修小学校		—	
小俣配水場系統	宮前第1水源	原水	宮前第1水源地		—	
	宮前第2水源	原水	宮前第2水源地		10.8	
	宮前第1・第2水源 南勢水道	浄水	中小俣公園跡地		—	
二見配水池系統	南勢水道	浄水	朝熊町箕曲瀬地内		—	
床ノ木水源地系統	床ノ木水源	原水	床ノ木水源地		—	
		浄水	矢持町地内		—	

(備考) 検査結果【—】の表記は5ng/ℓ未満(基準値の1/10未満)

ng(ナノグラム)・・・ 1ngは10億分の1g(グラム)・百万分の1mg(ミリグラム)

原水・・・・・・・・・ 地下水や河川から取水する水道のもととなる水

浄水・・・・・・・・・ 原水から消毒等の処理をして作られた水

PFOS・PFOAについて

PFOS・PFOAとは

▼有機フッ素化合物の一種で、油分を弾くコーティング剤、泡消火剤、半導体などに用いられた物質ですが、いったん自然界に出ると長期間、分解されず環境中に留まることが分かっています。

▼人体への影響として、コレステロール値の上昇、発がん、免疫系等との関連が報告されており、世界保健機関(WHO)の国際がん研究機関は、PFOAに発がん性があると認定しました。
どの程度の量が体に入ると健康への影響が出るのか、明らかにされておらず、これらの物質の健康への影響について、日本でも研究を本格化させるとしています。

▼日本では令和8年に「水道水質基準」として位置づけられ、基準値は「PFOS及びPFOAの量の合計として50ng(ナノグラム)/L以下」です。この数値は、体重50kgの人が生涯にわたってPFOS・PFOAを50ng含んだ水を毎日2L(リットル)飲用しても、健康に影響が生じないと考えられる水準を基に設定されたものとされています。

市の対応状況について

市では令和2年度より検査を行い、基準値を下回っていることを確認しています。今後も国の基準に適切に対応し、安全な水の供給に努めていきます。